

令和5年上半期のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況
について（暫定値）

令和5年8月10日
人身安全対策課

1 ストーカー事案

(1) 取扱状況

ストーカー事案の認知件数は51件で、前年同期より6件(10.5%)減少した。

ストーカー規制法の検挙は3件で、前年同期より1件(25.0%)と減少した。

他法令検挙は5件で、前年同期より2件(66.7%)増加した。

	認知	規制法検挙	他法令検挙	警告	禁止命令
令和4年上半期	57	4	3	6	4
令和5年上半期	51	3	5	5	4
増減	△6	△1	2	△1	0

(2) 行為態様

つきまとい行為の態様は、3号(義務無き要求)が26件(31.3%)と最多で、次いで1号(つきまとい等)が25件(30.1%)となっている。

・ ストーカー規制法第2条第1項

計	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
81	25	5	26	7	14	1	2	1

※ 複数計上のため認知件数より多い

1号 つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、見張り、うろつき	5号 無言電話、拒否後の連続電話・メール等
2号 監視していることの告知	6号 汚物等の送付
3号 面会、交際等義務ないことの要求	7号 名誉を害する行為
4号 粗野又は乱暴な言動	8号 性的羞恥心を害する行為

・ ストーカー規制法第2条第3項

計	1号	2号	1号	2号
2	1	1	1号 GPS機器等により位置情報取得	2号 GPS機器等の無断取付け

総数	1項関係	3項関係
83	81	2

(3) 関係別

被害者と行為者の関係は、元交際相手が12件で、全体の23.5%を占めている。

総数	配偶者	交際相手	友人知人	同僚	職場関係者	面識なし	その他	行為者不明
51	7	12	9	7	2	1	7	6

(4) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、20代が16人(31.4%)、30代と40代がそれぞれ11人(21.6%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は2人(3.9%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
51	2	16	11	11	9	0	2

イ 行為者

行為者の年代別は、20代が9人(17.6%)、30代が10人(19.6%)となっている。

65歳以上の高齢行為者は7人(13.7%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上	行為者不明
51	1	9	10	7	7	3	7	7

2 DV事案

(1) 取扱状況

配偶者暴力(DV)事案の認知件数は139件で、前年同期より5件(3.5%)減少した。

DV防止法の検挙は1件で、前年同期より1件(100%)増加した。他法令検挙は6件で、前年同期より1件(20.0%)増加した。

	認知件数	DV防止法検挙	他法令検挙	保護命令
令和4年上半期	144	0	5	2(0)
令和5年上半期	139	1	6	9(0)
増減	△5	1	1	7(0)

()は他機関決定

(2) 関係別

被害者と加害者の関係は、婚姻関係が105件(75.5%)、同居型交際が23件(16.5%)となっている。

総数	婚姻	内縁	同居型交際	元婚姻	元内縁	元同居型交際
139	105	4	23	7	0	0

(3) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、40代が32人(23.0%)、30代が33人(23.7%)、20代が26人(18.7%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は、25人(18.0%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
139	1	26	33	32	15	7	25

イ 加害者

加害者の年代別は、40代が30人(21.6%)、30代が42人(30.2%)、20代が18人(12.9%)となっている。

65歳以上の高齢加害者は、31人(22.3%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
139	1	18	42	30	10	7	31